



岩手県立大東高等学校

第 20 号

令和 8 年 3 月 1 日 発行  
一関市大東町摺沢字堀河ノ沢34-4  
岩手県立大東高等学校同窓会

大東高校HP 大東高校note



機種により読み取りが困難な場合があります。

印刷 / トーバン印刷(株)

# 同窓会報



## 未来へつなぐ

同窓会長 足利 勲  
(昭和三十九年度卒)

同窓生の皆様には、日頃より本校のためにご支援・ご協力をいただき心からの感謝を申し上げます。

ります。

今年度も年度末が近くなってきました。現在の大東高校には百三十名の生徒が学んでおります。数年前まで二百名を超す生徒数を数えておりましたが、現在は半数近くまで減少しています。このため、部活動やその対外試合等に支障を来している現状にあります。団体競技での出場が難しく、個人競技での出場が多くなっています。が、そんな中で素晴らしい成績を残している生徒もおります。個人種目での陸上やり投げインターハイ出場、弓道での個人全国大会出場等生徒たちは頑張っています。出場のために学校では壮行会を開いてくれて、同窓会を代表して励ましの催しに参加させてもらってお

来年度に迎える創立百周年の記念事業にむけて、それぞれの部門で準備を進めている最中に、驚きのニュースが入ってきました。令和七年八月五日付の岩手日報に、県教育委員会からの県立高校再編計画案が掲載されました。本校もこれに該当し、このところ入学生の少なかつた普通科一クラス減、情報ビジネス科の二年後募集停止案が出され、この対応が急務となりました。同窓会でも何とかせねばとの考えから、何より先にと動き始めたところです。このところ地元大東中学校卒業生の進路選考に変化が現れ、大東高校へ来てもらえると思っていたところが、卒業後の進学考え一関方面へ、電車通学がしたくて千厩へ等、地元大東高校への入学生徒が三分の一程

度しか望めず、苦境に立たされる形となっています。このため、同窓会では、本校の生徒会執行部の生徒たちと懇談会を開いて高校生の本音を聞いてみる催しを開催しました。個人での希望よりも集団で動く傾向が強く感じられ、部活動等の理由により、一関と千厩に分かれて本校への入学生が少なくなっていることがわかりました。そこで、本校でも学校の魅力づくりをメインに学校のPRに動き出しました。小中学校への部活動PR、出前交流、鹿踊部の演舞は特に好評のようです。

これに加え、地域の共同体へ地元高への入学の案内を進めるための協力を要請しました。同窓会・PTAを中心に、地域(大東町内・東山町含む)の各共同体組織と、県議会議員・市議会議員を含めての支援組織として、「未来へつなぐ大東高校プロジェクト」を立ち上げ、この趣旨を以て再編計画に時間をいただきたいと先延ばしの要請書をもって十一月十四日に岩手県教育委員会へ再検討の要望

書の提出を行ってきました。この組織を中心に、生徒の本校への入学の呼びかけを勧める決意書でもあります。

十二月九日と十一日には、大東中学校と東山中学校へ出向き、各学校長さんから三年生の進路状況について伺い、状況の把握に努めたのですが、次年度も厳しい状況は避けられないものと受け止めて参りました。

現在の一学年の情報ビジネス科はわずか三名しかおりません。次年度もこの状況が続く場合は二年後に科の募集停止という大きな壁を提示され、これを防ぐための大きな流れを地域に作りたいとの行動です。この県教委の提示案に対しては時間も無く、やれるべきことをやってみようと、地域を挙げでの動きを各構成団体へひとりでも紹介をと再協力をお願いしているところですよ。

この「未来へつなぐ大東高校プロジェクト」の活動に、まわりの支援が動いてくれました。十二月十八日の県立高校に関する地域検

討会議が開かれ、第三期再編計画修正案（首長よりの再考要求）により、当初案で二〇二七年度としていた情報ビジネス科の募集停止時期が、二〇二九年度へと延期が決まり、いよいよ学校の地域校としてのあり方、学びの機会の保障など、魅力化について地域とともに考えていかねばなりません。さらなる支援を続けて参ります。

今年度の同窓会の活動は、六月八日の東京首都圏支部総会があり、懐かしい同窓生の皆様と再会し、楽しい思い出をつくらせていただきました。次年度より佐藤正弘現支部長から加藤俊博新支部長へ引き継ぐ旨の報告があり、長い間のお世話に敬意と謝意を申し上げます。その他、仙台・盛岡支部とも会員の高齢化と出席者の減少のため開催を見送る旨の申し出があり残念に思っております。

七月四日には本部総会が開かれ、この席で、来年度の創立百周年の記念事業について、改めて準備を含めて力を貸してもらえようをお願いをしたところです。昨年の会

報にも記したとおり、令和八年十月十日に記念式典を予定しております。記念事業についても、五つの委員会それぞれ準備を進めております。なお、計画通り令和七年十月末には開校以来の同窓会名簿（二万三千名分）が完成し、皆様のお手元に届けられたことと思えますので、御覧いただきたいと思えます。これについても百年の歴史を創ってこられた本校の元教職員はじめ先輩方、同窓生の皆様のおかげです。お手元に置いて生きてこられた証としてご活用いただければ幸いです。

学校の規模は小さくなっておりませんが、在校生の意気は軒昂です。昨年一番の思い出は少人数となった高校野球の夏の大会にありました。連合チームで臨んだ金ヶ崎高校さんから全校生徒による友情応援を受けたことです。感動でした！ 少ない部員で精一杯頑張っている選手に熱い応援をいただきたいことに涙が出るほどありがたく、またうれしく、高校野球の原点を見た感じがしました。頑張ってく

れた選手ありがとう！ 連合を組んでくれた金ヶ崎高校さんありがとう！ 心からの謝意を贈らせていただきます。

今年も進学や就職の季節となりました。地元志向の傾向が続いていると聞いています。自分の選択した進路に向け、努力を続けてください。

校長先生をはじめ教職員の皆様の日頃のご指導に感謝を申し上げます。生徒たちへさらなるご指導をお願い申し上げます。

結びに、同窓生の皆様の御健勝をお祈りいたします。





## 高校時代

校長 大石 敦子

同窓会の皆さまには、日頃より本校の教育活動に対しまして、あたたかなご支援、ご理解、ご協力をいただいておりますことに、衷心より感謝申し上げます。

六月に首都圏同窓会総会が東京で開かれ、足利会長さんらと参加させていただきました。その際、私の高校時代の同級生四人と会うことが叶いました。高校卒業以来三十九年ぶりの思いがけない再会でした。面影はそのままに、それぞれが首都圏で元気に生活し、活躍していることを頼もしく思い、近況を伝え合ったり、高校時代のことを懐かしく振り返ったりしました。その日の数時間、昭和の高校生に戻ったような気がし、同じ校舎同じ教室で共に過ごした絆のようなものが確かに存在すること

を披露したりしました。摺沢ごども園との交流も継続して実施しました。二月の大原水かけ祭りには、昨年度から大東高校として参加しており、地域貢献、伝統文化理解の場ともなっております。

また、部活動等では全国大会に駒を進める生徒も複数おり、活躍が光りました。インターハイ陸上競技、全国商業英語スピーチコンテスト、弓道全国選抜大会等、大きな大会に出場した貴重な体験は、きつとこの後の人生にも活かされるものと考えます。

生徒一人ひとり、時にはチャレンジして失敗したり、時には周囲に支えられたりもしながら、それぞれ個性の葉を伸ばし、花を開かせた一年でした。大東高校の様子、生徒の活動の様子は、学校ホームページやnote等でも随時情報を発信しておりますので、ぜひご覧いただければと思います。

創立百周年記念事業の一つとして、校歌を混声三部合唱用に編曲していただきました(小野寺龍彦氏編曲)。三月の卒業式に向けて、

男声パート、女声アルトパートの練習をしています。一、二年生の歌う校歌の歌声が聞こえてきます。また昨年度、音楽室・美術室に整備していただきましたエアコンは、酷暑の続く夏の期間、授業や部活動でありがたく使用させていただきました。感謝申し上げます。

大正十五年四月に開校した私立摺沢家政女学校から一世紀、大正昭和、平成の時代を経て、令和八年本校は「満百歳」を迎え、令和八年度は創立百周年記念の年、節目の年となります。昨年度より記念事業実行委員会を立ちあげ、各専門委員会で打合せを重ねてまいりました。来年度の記念式典、記念講演会等、皆さまのご協力を得ながら、この後も成功に向けて準備を進めてまいりたいと思います。今後とも、これまで同様、同窓会の皆さまからのご支援、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

を実感しました。人生のたった三年間ではありますが、高校時代は自分の一生の土台が築かれ、生涯の友情を育み、それぞれが人生の折に触れてあの時の記憶に立ち戻る…、そういう宝物のような時代だと感じました。その日は、懐かしいひとときを過ごした感激を胸に、帰路に就いたのでした。

今年度の大東高校は全校生徒百三十二名でスタートしました。令和の高校時代を生きる生徒たちは、日々学習活動、生徒会行事、部活動、委員会活動、ボランティア活動等に取り組みました。今年六月に大東中学校へ生徒会代表生徒が訪問し、高校生活の様子を紹介したり、十二月に大東小学校の伝承活動鑑賞会に招かれ、全校児童の前で鹿踊部が迫力ある演舞

# 支部活動報告

## 首都圏支部

### 首都圏支部活動報告・近況報告

首都圏支部長 佐藤 正弘  
(昭和三十九年度卒)



会報第二十号の原稿は役員の見意を集約した原稿にしたいと思ひオンライン

を利用した。

一昨年春四月一日、大東高校に初の女性校長が誕生。それも同窓生の大石敦子先生。昨年六月八日首都圏同窓会でお会いした、明るい。これで学校も大きく変わると期待が湧いた。昨秋十月二十一日日本憲政史上初の女性総理大臣が誕生！日本中が震えた。一か月後、世人は、この国の気流が変わったと評した。閑話休題！

#### 近況報告

三月二十九日(土)役員会開催。出席十三名。十四時〜十七時。会場は市ヶ谷。議題は次年度の役員人事及び行事について。個人情報保護法取り扱いについて。令和七年度首都圏同窓会総会・講演会・懇親会開催について。

\*次期支部長候補の加藤俊博氏(昭和四十四年度卒)は一年間体験してから、明年度より受任したいと要望が有り了承。

五月二十二日(木)役員会開催。市ヶ谷 本年の同窓会総会・講演会・懇親会の準備状況確認。参加人数・進行表・配置図等の確認。

\*首都圏同窓会総会・講演会・懇親会開催  
【令和七年六月八日(日)市ヶ谷 校友会館三一一会議室・四階 桜ホール】

参加者・会員三十四名・新卒者無し・来賓五名・計三十九名。  
来賓 学校長大石敦子先生(昭和六十一年度卒)・同窓会長足利勲様・盛岡支部長菊地新悦様・三九会代表鳥畑弘幸様をお迎えして開催。

記念写真の撮影は菅原吉男氏。司会は佐藤修一氏  
開会の辞・兼ねて物故者に黙禱  
副支部長の上野仁子さん。校歌  
斉唱は江川新風氏  
来賓紹介 司会者が担当。支部  
長挨拶 佐藤正弘

来賓祝辞 学校長大石敦子先生  
同窓会長足利勲様  
会計報告 会計担当副支部長  
森井七郎氏  
閉会の辞 副支部長 笹森美代子さん

第二部 講演会 講演者 田村茂氏(昭和四十五年卒) 大船渡出身 元株式会社モスフードサービス専務取締役 現office igata代表

「演題」人生は出会い、ポンコツ人生の転換  
\*感想「噛んで砕いてゆつくり理解させる話法は聴衆を引き付け納得させる。素晴らしい講演でした!」「あの人、本当におらほの学校の卒業生だべがあ?」あまりの素晴らしさに会員から漏れた言葉! 講演は大変好評でした。講演者の著書は即完売。

首都圏支部は田村茂氏の二冊の著書五セット。

笹森美代子さん(大原商業昭和四十八年度卒)の御尊父菅原林蔵氏の著書「小萩の里の夜話」編集・発行大原同郷人会。五冊を大石校長先生へ同級生の中島和江さん等が手渡しました。

第三部 懇親会 尺八演奏 江川信風氏(昭和四十五年度卒) 演歌 炎の男 伊東正男氏(昭和四十一年度卒) 卒業年次ごと写真撮影(担当菅原吉男氏) 万歳三唱 伊東道郎氏 閉会の辞 及川武氏 解散

七月四日(金)本部同窓会総会参加者二名 加藤俊博氏・菅原健氏。会場摺沢バンバン。

七月二十六日(土)役員会開催 会場 市ヶ谷 議題 総会の反



図書館だより 岩手県立大東高校図書館 令和7年8月 日発行

\*モスライスバーガーを開発した田村茂さんはみなさんの先輩です\*

田村さんが著書をお貸しくださいました。日本発祥のモスバーガーが成功した理由がわかります。各クラスに配属しますので、読んでみてください。

お役立ちの思考のすずめ

変化対応力を高める

外食マネージャーのぶれないプライド

首都圏支部 田村茂様からの寄贈

省及び百周年記念企画について。  
役員十三名出席

九月二十八日(日) 大原同郷人会参加 佐藤・加藤の二名

十一月三十日(日) 役員会開催  
会場 市ヶ谷 百周年記念企画について。

原案承認。記念品は時計に決定。  
参加者の掘り起こしについて。後

忘年会  
令和八年三月二十八日(土) 役員会開催予定。案内通知文。来賓

決定。  
五月十七日(日) 役員会開催予定

令和八年六月十四日(日) 創立百周年記念日首都圏同窓会開催予定。

おわりに、平成二十五年四月より支部長を拝命し、長きにわたり各校長・先生方をはじめとする学校の皆様・同窓会長さん・各支部長さん方勿論当支部の皆様には大変お世話になりました。母校大東高等学校・同窓会のご発展をご祈念申し上げお礼の言葉といたします。有難うございました。



### 仙台支部

#### 仙台支部近況報告

仙台支部長 小山 政明  
(昭和三十九年度卒)



まず仙台支部より令和七年度の支部活動について残念な結果

をご報告しなければなりません。近年は、毎回私の前後の卒業生が参加してくださり、細々ながらも何とか支部総会・懇親会を続けて参りましたが、令和七年度は今まで駆けつけてくださった方々からも高齢を理由に不参加の意志が伝えられました。苦渋の決断で七年度の集いは中止とさせていただきます。

令和八年度も事情はほとんど変わらず、支部総会は休止にしたいと思っております。母校が創立百周年を迎える今年、何とか持ちこたえたいと頑張つて参りましたが、千葉事務局長や仲間たちとも話し合った結果、支部総会休止もやむを得ないとの結論にいたしました。今後の活動につきましては、同窓会や学校ともよく相談して決めていきたいと考えております。ただ、母校百周年記念事業に対しましては仙台支部も全面的に協力させていただきます。

## 令和7年度 本部総会報告

令和7年7月4日(金)に同窓会本部総会が開催されました。今年度は、総会と懇親会を同一会場にし、摺沢駅前「中華レストランバンバン」に設定しました。3年ぶりに新卒者7名の参加があり、懇親会の始まりに激励会を実施することができました。



総会には首都圏支部から次期支部長の加藤俊博様、菅原健様にもお越しいただき、新卒者7名を含め28名が出席しました。那須勇氏(S51卒・摺沢)を議長に、令和6年度の事業報告・決算報告、令和7年度の事業計画・予算案について承認されました。その他として、生徒数の減少について、地域への働きかけの必要性が共有され、同窓会としての取り組みが急務であることが確認されました。



総会後の懇親会に先だって、久しぶりの新卒者激励会が開催されました。新卒者たちからそれぞれに近況が報告され、社会人1年生として地域に貢献する人材に育ちつつあることが伝えられました。サプライズとして学年長と旧担任からのメッセージが届き、感激した様子でした。懇親会では、思い出話やこれからの母校について熱く語り合う時間となり、少人数ではありましたが、大変盛会でした。

**【事務局から】 ◎同窓会本部総会の案内について**  
今年度から郵送での案内は、理事と前年度出席者に限定し、全体へは同窓会ホームページへの掲載で周知しております。  
100周年に向けての情報も発信しておりますので、時々ホームページの方も覗いてみてください。

#### 令和6年度同窓会会計報告

収入総額	1,071,650円
支出総額	672,994円
差引残額	376,691円

### 岩手県立大東高等学校

# 創立百周年記念事業 進行状況について

## 一、式典・祝賀会について

下記の日程で実施予定で進めています。

式典 令和八年十月十日(土)

於 大東高校第一体育館  
祝賀会 令和八年十月十日(土)  
於 げいび観光センター  
レストハウス

## 二、記念事業について

(一) 特別教室の冷房設置

前倒しで計画させていただきました。令和七年一月十日に音楽室と美術室に設置完了しました。

(二) 校歌編曲

小野寺龍彦氏に依頼し、百周年を記念して混声三部合唱に編曲していただきました。式典で披露する予定です。

(三) 特別授業と講演会

本校OBの清水真介氏に令

## 三、同窓会会員名簿について

様々なご意見とご協力をいただき、令和七年十月末日に発刊しました。

## 四、募金について

現在、百周年記念事業のための募金のご協力をお願いしています。詳しくは本校ホームページをご覧ください。

## 五、百周年記念誌について

タイトル「永き伝統 大いなる未来展かん」に決定。令和九年二月の発刊に向けて、現在、原稿依頼、記録の整理等を進めています。

### 令和七年度

## 在校生の活躍

### 運動部

#### 陸上競技部

第二十九回みちのく春季陸上一関大会  
女子やり投 金野桜妃 37m63 優勝  
二〇二五春季陸上記録会  
女子やり投 金野桜妃 37m42 優勝

第七十七回岩手県高等学校総合体育大会陸上競技大会  
女子やり投決勝 金野桜妃 38m84  
優勝(東北大会進出)

第八十回東北高等学校陸上競技大会  
女子やり投決勝 金野桜妃 40m48  
第三位(全国大会進出)

二〇二五岩手県陸上競技選手権大会  
女子やり投 金野桜妃 39m69  
第三位(東北大会進出)

第七十八回全国高校陸上競技対校選手権大会  
女子やり投予選 金野桜妃 39m35  
弓道部

第七十七回岩手県高等学校総合体育大会  
男子 団体の部 予選通過 ベスト16  
(及川颯太・小笠原涼太・懸田忠悦・佐藤光晟・佐藤寛太・首藤煌輝・菅原陽)

男子 個人の部 菅原陽 準決勝進出  
女子 個人の部 小野寺加佳 準決勝進出

第四十四回全国高等学校弓道選抜大会  
男子 団体の部 第二位  
(佐藤光晟・小笠原涼太・菅原陽・及川颯太)

男子 個人の部 第一位 佐藤光晟  
(全国大会進出)

第四十四回東北高等学校弓道選抜大会  
男子 個人の部 出場 佐藤光晟

第四十四回全国高等学校弓道選抜大会  
男子 個人の部 出場 佐藤光晟

第六十四回岩手県高等学校新人大会  
男子 団体の部 ベスト8  
(佐藤光晟・小笠原涼太・及川颯太・佐藤寛太・菅原陽)

ソフトボール部(女子)  
第二回岩手県高等学校春季選抜ソフトボール大会  
第二位

第七十七回岩手県高等学校総合体育大会  
第二位

第十八回岩手県高校女子ソフトボール大会  
第三位

### 文化部

#### 美術部

大東図書館・移動図書館なぎさ号出発式  
制作者参加  
小山桜々羽・伊藤麻央・菅野佑月

摺沢あんどん絵コンテスト  
一般の部 奨励賞 小山桜々羽

第五十八回岩手県広告美術展  
高校生ポスターの部 入選 小山桜々羽  
高校生グラフィックの部 入選 伊藤麻央

熱陶甲子園 J-Fujisawa 2025  
第二位 伊藤麻央、ベスト16 菅野佑月  
団体の部 準優勝(小山桜々羽・伊藤麻央・菅野佑月)

第四十八回岩手県高等学校総合文化祭美術工芸展(第六十三回県下高校美術展)  
特賞 絵画部門 小山桜々羽  
入選 デザイン部門 小山桜々羽

音楽部  
第七十七回全日本合唱コンクール岩手県大会  
銅賞(菅原茜月・嶋本耀・千葉愛花・鳥畑花絵・中津山琴・鈴木紫音)

第三十五回岩手県合唱小アンサンブルコンテスト  
銀賞(千葉愛花・鳥畑花絵・鈴木紫音)

鹿踊部  
第四十八回岩手県高等学校総合文化祭郷土芸能発表会  
優良賞

吹奏楽部  
第四十八回岩手県アンサンブルコンテスト関支部大会  
高等学校の部 銅賞

その他  
第四回「魅力発見」本の营销中心「関市立大東図書館」  
最優秀賞 熊谷莉央  
優秀賞 中津山琴  
イラスト・デザイン賞 鈴木紫音

日本新聞協会第十六回「いじ」を読もう!新聞コンクール  
学校奨励賞、奨励賞 菅原理菜

日本新聞協会第十六回「いじ」を読もう!新聞コンクール  
県NIE協議会 岩手賞 団体 大東高等学校の部 優秀賞 菅原理菜

令和七年度岩手県商業高等学校英語スピーチコンテスト  
暗唱部門 第一位 村上夕斗

第四十二回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト  
出場 村上夕斗

# 全国大会出場報告

## ●第八十回東北高等学校陸上競技大会 女子やり投

### 第三位 (全国大会進出)

六月十三日～十六日 / 新青森県  
総合運動公園陸上競技場 (青森  
県青森市)

## ●第七十八回全国高校陸上競技対校選手権大会 女子やり投

七月二十八日 / ホットスタツフ  
フィールド広島 (広島県広島市)

### 金野 桜妃 (三年C組)



三年間、部活動として陸上競技を続け目標としてきた全国大会に出場することができました。インターハイという大舞台に立つたとき、とても緊張していましたが、「頑張れ！」という仲間の応援を

信じて、最後まで笑顔でプレーすることができました。そして、全国レベルのプレーを見ることに

より、自分の中で、やり投の可能性をさらに広げることができたと考えています。

同窓会の皆様からの応援や励金が大きな支えになりました。本当にありがとうございました。

## ●第四十二回全国商業高等学校

### 英語スピーチコンテスト

#### 暗唱部門 出場

九月二十一日 / 全商会館 (東京  
都新宿区)

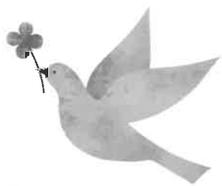
### 村上 夕斗 (三年A組)



私は、高校三年生で念願の全国大会出場を果たすことができました。残念ながら賞には一步届きませんでした。日々の練習を重ねる中で発音や表現力を高め、本番ではこれまでの努力を十二分に発揮することができました。この経験を通じて、結果にとらわれず、

目標に向かって最後まで創意工夫を凝らし諦めない力を養いました。また、大会に向けて熱心にご指導くださった先生方、励まし合いながらともに取り組んだ仲間が存在が、私にとって支えとなりました。さらに、同窓会長様から温かいお言葉と激励金を賜り、大きな励みとなりました。心より感謝申し上げます。

皆様からいただいたご厚意を胸に、今後もより一層努力を惜しまず重ねて参ります。応援ありがとうございました。



## ●第四十四回全国高等学校弓道選抜大会 男子 個人の部 出場

十二月二十三日～二十五日  
／静岡県武道館 (静岡県静岡市)

### 佐藤 光晟 (二年B組)



大会で二位以上に入ると全国大会の出場が決まると知らずに県大会にのぞみ、全国大会が決まったときはとても驚きました。全国大会が決まってからも普段通りの練習を積み、あまり具体的な順位の目標を立てずにいつもどおり「自分の射」を目標としました。本番では緊張しませんでした。と少し欲を出してしまった点が反省点です。

全国大会出場にあたり、同窓会の皆様から応援と激励金をいただきました。本当にありがとうございました。

令和 7 年度 進路概況 R8.2.13 現在

進路	区分	男子		女子		合計 (53名)	
		普通科	情報 ビジネス科	普通科	情報 ビジネス科		
学	大 学	国公立	2	0	0	0	2
		私 立	1	0	0	2	3
	短期大学	国公立	0	0	1	0	1
		私 立	0	0	0	0	0
	専修・各種 学校	医療系	1	0	7	0	8
		医療系 以 外	3	1	10	0	14
	文科省管轄外	1	0	0	1	2	
合 計	8	1	18	3	30		
職	民間企業	管 内	1	2	1	3	7
		県 内	1	1	0	1	3
		県 外	5	0	5	1	11
	公 務 員	0	0	0	0	0	
	合 計	7	3	6	5	21	
そ の 他	1	0	0	0	1		
合 計	16	4	24	8	52		

【主な進学合格先】

岩手県立大学、盛岡大学、東京女子体育大学、神奈川工科大学、岩手県立大学盛岡短期大学部、JR東京総合病院高等看護学園、岩手県立一関高等看護学院、一関医師会附属一関看護専門学校、東北労災看護専門学校、専門学校仙台総合医療大学校、仙台リハビリテーション専門学校、国際医療福祉専門学校一関校、仙台ビューティアート専門学校、仙台こども専門学校、専修大学北上福祉教育専門学校、仙台デザイン専門学校、東北ヘアーモード学院、宮城県立白石高等技術専門学校、気仙沼リアス調理製菓専門学校、専門学校デジタルアーツ仙台、北海道技術デザイン専門学校、ファッション文化専門学校DOREME、バンタンデザイン研究所、MCL盛岡医療福祉スポーツ専門学校、北上コンピューターアカデミー、岩手理容美容専門学校、専門学校花壇自動車大学校

【主な就職先】

TDKエレクトロニクスファクトリーズ株式会社、TOYOTIRE株式会社、クリアネイト株式会社、株式会社ヤマダデンキ、有限会社タイヨー、株式会社エイティーンエンタープライズ、株式会社サンデリカ、株式会社ソーゴ、Astemo株式会社、株式会社緑水亭、日本郵便株式会社、キオクシア岩手株式会社、株式会社プレステージ・インターナショナル岩手BPOフォートレス、SWS東日本株式会社、社会福祉法人室根孝養会、株式会社ケー・アイ・ケー、国際興業株式会社、千住電子工業株式会社、株式会社長島製作所

令和七年度 大東高校同窓会  
役員会名簿

盛岡支部長	菊地新悦	仙台支部長	小山政明	首都圏支部長	佐藤正弘	藤田俊彦(猿沢)	小山富夫(興田)	監事	太田行宏(大原)	佐藤徳幸(曾慶)	泉好信(曾慶)	小野寺二男(東山)	菊池武司(千蔵)	鈴木淳(東山)	高橋勝男(東山)	山崎司朗(松川)	小崎真樹(渋民)	佐藤一男(川崎)	菊池城治(大原)	岩淵隆太(大原)	金野育朗(大原)	金野幸富(大原)	菊池政和(大原)	太田正幸(大原)	菊池幸郎(大原)	後藤凌作(摺沢)	穴戸武英(摺沢)	理事	大石敦子(校長)	金秀也(渋民)	菊地誠徳(猿沢)	声宏(大東)	副会長	鈴木哲史(一関)	会長	足利勲(曾慶)
-------	------	-------	------	--------	------	----------	----------	----	----------	----------	---------	-----------	----------	---------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----------	----	----------	---------	----------	--------	-----	----------	----	---------

あしがき

今年も、同窓会報第二十号を発行することができました。お忙しい中ご寄稿くださいました同窓生の皆様、本当にありがとうございました。二〇二六年はいよいよ創立百周年を迎えます。今後とも、母校の教育活動にご支援とご協力をお願いいたします。

「令和七年度卒業生幹事」

- 小野寺 由規 (3A)
  - 佐藤 寛太 (3B)
  - 菅原 慶 (3C)
- よろしく願います。



事務局

〒029-0523  
岩手県一関市大東町摺沢  
字堀河ノ沢三四一四  
岩手県立大東高等学校内  
TEL(019)751-3369  
FAX(019)751-3117  
事務局員 武田宏行  
足利麻美  
蜂須賀玲